

平成30年度 第7回部長会議 会議記録 要旨

開催日時：平成30年9月7日（金） 13時00分から13時55分まで

開催場所：市長公室

出席者：牧野市長、佐藤副市長、代田教育長、寺澤総務部長、今村総合政策部長、北沢リニア推進部長、塩沢リニア推進部参事、松下市民協働環境部長、清水健康福祉部長、遠山産業経済部長、寺田産業経済部参事、小平建設部長、奥出建設部参事、前澤上下水道局長、宮内市立病院事務局長、木下市長公室参与、吉村危機管理室参与、赤羽目会計管理者、吉川議会事務局長、櫻井社会教育担当参事、塚平財政課長、串原企画課長

会議内容

1 理事者あいさつ

<市長>

8月3日から開催されたいいだ人形劇フェスタ・世界人形劇フェスティバル、また、シャルルヴィル・メジール市との友好都市提携30周年記念事業、AVIAMA総会という大きな取り組みを、皆さん方のご尽力により成功裏に終えることができたことに改めて感謝申し上げる。このような大きな事業を滞りなく開催でき、小さな世界都市に向けた大きな一歩を確実に刻むことができたことと総括をさせていただいているところである。また、その後には、災害対応や議会への対応など、慌ただしい日程の中でご尽力いただいたことに重ねて御礼申し上げます。

さて、今年度も半期が過ぎようとしている中で、それぞれの部局において上半期の振り返りをしていただき、下半期に備えていただくことが大切であると考えている。今回の議会の中では、猛暑の対策をどのように進めていくかなど、足元の課題をどのように解決していくかということに特に関心が高かったと感じている。一方で、リニア中央新幹線の開通、三遠南信自動道の全通を見据えた中長期的な視点での課題対応、右肩下がりの時代の中で田舎へ還ろう戦略の取組についても着実に進めていかなければならないと認識している。夏季休暇をきちんと取得して英気を養っていただき、引き続き、皆さん方にご尽力いただくようよろしくをお願いしたい。

<副市長>

行財政改革の取組については、これまでも職員数の削減やシーリングなどの手法を用いた予算の削減によって一定の成果を収めてきたが、数字的な削減は限界があるということで、今の行財政改革大綱には数字的な目標はあまり記載せず、量的改革から質的改革へとということを打ち出して取り組んでいる。

しかし、平成29年度の決算は非常に厳しいもので、このままでは持続可能性に大きな疑問を持たざるを得なくなっている。リニア三遠南信時代を見据え、市役所として中長期的な課題に取り組むには、構造的な改革に踏み切る必要があり、今まで手をつけられなかった課題にも踏み込んでいかなければならない局面にあると考えている。チーム飯田市役所として、全体を見据えながら一緒に考えていく必要があり、部局長の皆さん、また一人ひとりの職員の皆さんから意見や提案をいただき、改めて構造的な行財政改革を進められるようお願いしたい。

<教育長>

市長のお話にもあったが、いいだ人形劇フェスタ・世界人形劇フェスティバル、AVIAMA総会を無事終えられたことに心より御礼申し上げます。総括としては、実行委員会の最後の話し合いや教育委員会の反省がまとまった段階できちんと報告したいと考えているが、第一に事故がなく終わったことがよかったと思う。事前に文化会館を中心に熱中症への対策が徹底でき、各部署からご協力いただいた皆さんも含め、しっかりとした連携が取れたと考えている。

私自身、今回の期間中に25公演を拝見させていただき、人形劇の多様性や奥深さを改めて体感した。その中で、小中学校の劇団も7つ見させていただき、シナリオを作るところから配役を決め、小道具を準備し、表現するという一連の流れはみんなで力を合わせないとできないことであり、教育的な要素が多く含まれていると考えられる。これから人形劇50周年を見据えていく中で、人形劇の教育的価値について学校教育だけでなく、社会教育の分野、また文化の面からも次のステージに高めていくために、今後の方向性や市民との

協働のあり方をしっかりと考える必要があり、教育委員会だけではなく、各部署からもご意見等をいただきたいと考えている。

最後に、AVIAMA総会は特に小中学生にとって貴重な機会になったように思う。総会後には、飯田東中学校の生徒がりんご並木を英語で案内したが、海外の方に物怖じせず堂々と案内している姿を見て、非常に頼もしく思えた。まさに、小さな世界都市に向けた大きな一歩になった人形劇フェスタであったと捉えている。

2 報告事項

(1) 平成30年8月の交通事故報告について（総務部）

◇趣 旨：8月に発生した公用車および通勤中・公務外の交通事故の事案を部長会議で共有し、交通事故の防止に取り組んでいただくもの。

◇論点・課題

- ・8月は公用車の事故が7件、いずれも物損事故があった。
- ・傾向として車を発進する際の事故が多く、停車中の車を発進するときには乗車前に周囲を確認するよう改めて徹底していただきたい。
- ・また、通勤中・公務外の事故が2件、いずれも人身事故があった。
- ・公用車の事故については、昨年度まで減少傾向が続いていたが、今年度は事故件数が非常に多い状況である。事故を減らすために車内にステッカーを貼るなど注意喚起をしているが、他の方法についても考えていく必要がある。
- ・9月下旬には秋の全国交通安全運動があり、その間に交通安全講話を行うよう計画している。講話への出席にご配慮いただくとともに、交通事故が起こらないよう各部署で取り組んでいただきたい。

◇主な意見等

特になし

(2) 平成30年度市政懇談会の総括について（市民協働環境部）

◇趣 旨：5月25日から8月1日にかけて、全20地区で開催した市政懇談会の参加者数、分野別の概要等全体の総括を報告した。

◇論点・課題

- ・今年度の市政懇談会は、20地区で「田舎へ還ろう戦略」に取り組もうというテーマで行い、各地区において地域課題についての提案や意見が出され、課題解決に向けより主体的に取り組んでいこうという意識の拡がりが見られた。また、小中学生によるこれからの地域についての発言やまちづくりの取組事例の発表などを通して、田舎へ還ろう戦略の推進につながる考えが示された。また、全体の参加者数は2,160名で、昨年度を若干上回る数字となった。
- ・各地区から出された地域課題や活動事例等の発表については、分野別に概要をまとめてあるので、各部署でご確認いただきたい。
- ・部局長の皆様には、参加者の発言内容をきちんとご確認いただき、施策への反映等を検討していただくとともに、当日持ち帰りとなった課題等については速やかに対応いただくようお願いしたい。市政懇談会当日に出されなかった意見も「やрмаいか提言」等を出していただくよう周知しているの、提出があった場合にはご対応いただくようお願いしたい。

◇主な意見等

特になし

(3) 飯田市立病院新改革プランの一部改訂について（市立病院）

◇趣 旨：飯田市立病院新改革プランを一部改訂することについて、9月21日に予定されている飯田市議会全員協議会で報告する。

◇論点・課題

- ・平成28年度末に「新改革プラン」を策定し、計画期間を2017（平成29）年度から2020年度までの4年間としていたが、平成28年度に経常赤字となり、平成29年度は赤字が拡大したことから、「新改革プラン」を改訂し、経営改善に取り組んでいこうとするもの。
- ・病院収益の構造を分析する中で、具体的な目標とそれに関わる行動計画を作成し、新改革プランに反映させている。

◇主な意見等

特になし

(4) 平成30年度議会報告会の開催について（議会事務局）

◇趣 旨：市民の声を政策づくりに反映できるように取り組むことを目的として、10月2日～12日にかけて議会報告会を開催する。

◇論点・課題

- ・今年度は、地域の実情を考える中で、ブロックを1つ増やし、7つのブロックで開催する。
- ・分科会は、常任委員会ごとにテーマを設定し意見交換を行う。
- ・各部長におかれては、可能な限りご出席いただきたい。

◇主な意見等

（総合政策部長）毎年、議会報告会を行う中で、市民の評価や議会としての総括はどのようにされているか。

（議会事務局長）市民からは議会に意見を言える場として一定の評価があるが、その意見がどのように生かされているか見えづらいという声をいただく。まちづくり委員会への報告を早めたり内容を工夫したりと考えているが、具体的な意見についてどのように生かしていくかという部分については、議会の中でも整理をしているところである。

(5) コンベンション施設及び屋内体育施設に関する検討について（総合政策部）

◇趣 旨：8月17日に開催された広域連合会議において、飯田市も含めた各市町村から提出されたコンベンション施設及び屋内体育施設にかかる基本的な考え方アプローチシートをもとに議論がされた内容を部長会議で共有するもの。

◇論点・課題

- ・広域連合会議の中では、リニアの開通は千載一遇のチャンスで前向きに取り組むべきという意見がある一方、人口減少、二極化が進む中で必要性に疑問を感じるという意見もある。施設の在り方についてもさまざまな意見があるのが現状である。
- ・今後のスケジュールの中で大きく変わったところは、検討委員会の組織化、検討開始時期を来年の3月まで遅らせたという部分である。飯田市としてもこのスケジュールに合わせながら検討を進めたい。

◇主な意見等

（社会教育担当参事）市内のホールの検討についてもコンベンション施設の検討に合わせる必要があるため、スケジュールを見直す。

（総合政策部長）今後、広域連合会議で出される資料については、各部長の皆さんにも共有をさせていただく。資料をご確認いただき、ご意見等あれば総合政策部にお寄せいただきたい。

(6) 桐林クリーンセンター後利用の検討について（総合政策部）

◇趣 旨：8月31日に開催された広域連合議会の資料を部長会議で共有するもの。

◇論点・課題

- ・桐林クリーンセンターの後利用については、その周辺を一団の土地として産業系の利活用について検討を進めるよう方向付けがされている。
- ・今後は、広域連合から飯田市に依頼され、飯田市が中心となって企業誘致等に対応していくことになる。

◇主な意見等

特になし

(7) 飯田市議会全員協議会（9/21）における報告事項について（総合政策部）

◇趣 旨：9月21日開催予定の飯田市議会全員協議会で予定されている案件3件を報告する。

◇主な意見等

特になし

(8) 飯田市議会各常任委員会協議会における報告事項について（総合政策部）

◇趣 旨：9月10日（月）～9月19日（水）に開催が予定されている、飯田市議会第3回定例会の各常任委員会協議会の報告事項を報告する。

◇主な意見等

特になし

3 その他、連絡事項

・平成30年度飯田市長寿企業顕彰事業について（産業経済部）

- ・この事業は、長期にわたって継続して経営している企業を顕彰し、今後の地域経済のさらなる発展につなげることを目的として平成26年度より実施している。今年度は過日開催した審査委員会により11者を顕彰することが決定した。10月1日に顕彰式典を開催するので、関係部長にはご出席をお願いしたい。

4 閉 会